

CHIBA

東日本ユニオン千葉地方本部

発行者:関谷 道徳

編集者:情 宣 部

2021年度年末手当交渉始まる！

第1回団体交渉で趣旨説明！

私たちの生計費である年末手当要求

「基準内賃金の2.8ヶ月分」満額回答を！

東日本ユニオンは10月29日、2021年度年末手当の第1回団体交渉を開催し、私たちの要求である①「基準内賃金の2.8ヶ月分」②全社員一律による月数回答③2021年度年末手当の支給においては「成績率(増額)」の適用をおこなわないこと④年末手当は2021年12月10日までに支払うことを強く求めてきました。

前日、経営側は記者会見の席で厳しい決算内容を踏まえ、報道各社の質問に対し「さらなるコストカット」「社員の賞与の削減などをおこなう可能性もある」「支給額について引き下げも含めた検討に入る」といった回答をおこなった。本部交渉団は発言の真意と「交渉前から賞与の削減の可能性に言及したことは到底認められない」「基準額については交渉して決定する」と定めた労働条件に関する協約に踏まえ、労使間の団体交渉で真摯かつ建設的な議論を進めていく旨、強く訴えました。



- ・年末手当(ボーナス)をアテにしていないJR労働者なんていない！月の生活費の補填や子供の学費・住宅ローンなど、これ以上減額されたら生活できない！
- ・食料品やガソリンなど、身のまわりがほとんど値上げ。なのに賃金据え置きでボーナスも削減とか考えられない。これ以上何を節制すればいいの？
- ・「社員・家族の幸福の実現」とか言うのであれば社員に少しでも目に見えるカタチで還元してほしい。
- ・現業機関における柔軟な働き方しかり、先行き不透明すぎる。若い社員の転職も相次いでいる。働きがいも失われている会社に未来はない。

職場から要求の「声」をあげよう！厳しいのは会社業績だけではない！私たちの家計も厳しいんだ！